

昭和四十六年度 一般会計予算

四億八百五十万円の使い方

当初予算は四億八百五十万円と決まりました。
この額は前年比十一・九%の伸び率であり、財源内容は別表のとおりであり、本年も多分に交付税に依存している状況であります。
このような財源内容から極力経常経費の節減に意をもち、地域各位の要望にこたえる諸事業をとりあげ、積極的に投資的経費の増額を計りました。
さらに税収では昨年につぎ超過分の引下げをおこない、本年は標準税率といたしました。
又幹線道路は当初から舗装改良を大中に増額し、最も早い機会に(国、県の行政施策の見直しから)追加補正をなし、舗装工事を延長したい所存であります。
尚、教育振興、文化財保護等では本小学校体育館建設等白山橋の文化財蔵庫も建設することになりました。
以下各款の概要を説明いたします。

議会議費
壹千四百六十八万八千円であり、大部分が議会の活動費であり、うち二百六十万円が議会事務局費であります。

民生費
四千二百八十八万三千円であり、社会福祉関係費三千二百二十万、(うちたたり老人医療費補助百九十九万を占む)、児童福祉措置費二千九百九十九万、住居基本台費費六百十九万、その他であります。(選挙費二百七十万円等) 総務関係では人件費、庶務、財政、文書広報、企画、支所管理費、諸費であり海岸公園整備事業(造成)三百万円、保健給養費七百七十五万円、

衛生費
三千三百六十七万七千円であり、保健給養費七百七十五万円、

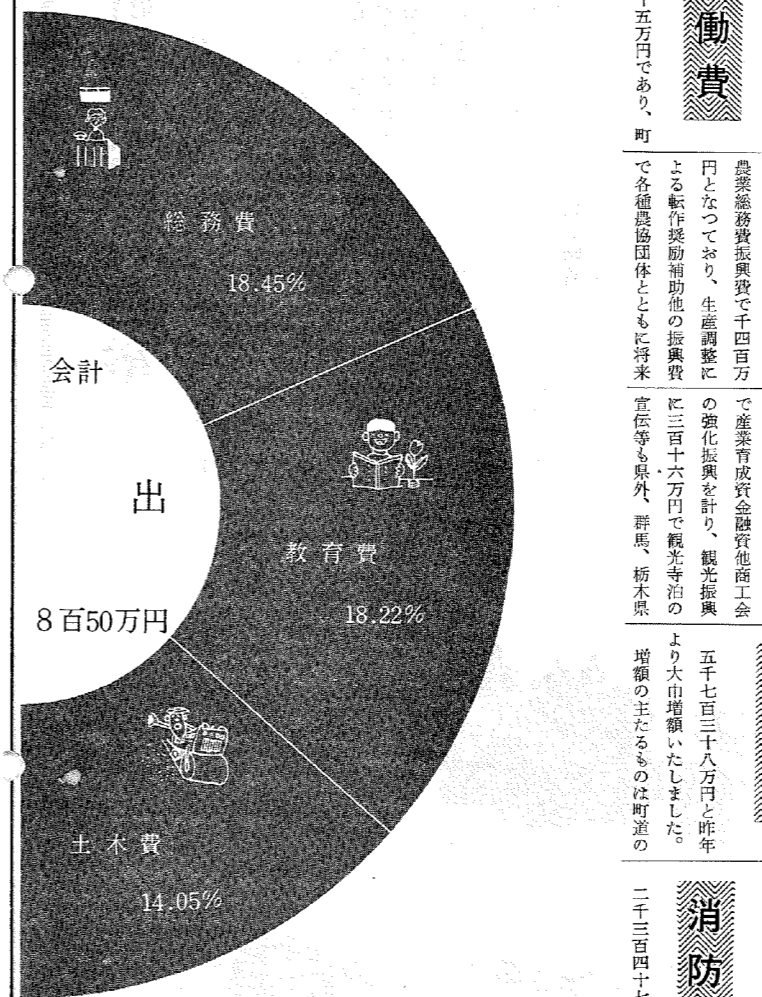
労働費
二千二百五十万円であり、町子防費三百七十三万円、母子衛生費百九十四万円、環境整備費二百三十六万円、母子健康センター費三百七十七万円、清掃費(ごみ処理費含む)九百三十五万円、し尿処理負担金四百七十七万円であり、母子衛生の強化推進、環境整備老人健康対策等を積極的に進めます。

農林水産業費
二千三百六十一万五千円であり、農業委員会費は七十四万円で、現下の農業をめぐる諸問題にたいくんとも、農業振興費千四百四十万、生産調整による転作奨励補助他の振興費千三百六十六万円で、観光寺泊の宣伝等も県外、群馬、栃木県方面に進出、スカイライン海の寺泊とむすんで広域観光の中間地としての受入や環境整備も観光協会等とともに進めたいものであります。
水族館費は四百八十八万円で施設整備もいたします。

商工費
二千三百六十一万五千円であり、農業委員会費は七十四万円で、現下の農業をめぐる諸問題にたいくんとも、農業振興費千四百四十万、生産調整による転作奨励補助他の振興費千三百六十六万円で、観光寺泊の宣伝等も県外、群馬、栃木県方面に進出、スカイライン海の寺泊とむすんで広域観光の中間地としての受入や環境整備も観光協会等とともに進めたいものであります。
水族館費は四百八十八万円で施設整備もいたします。

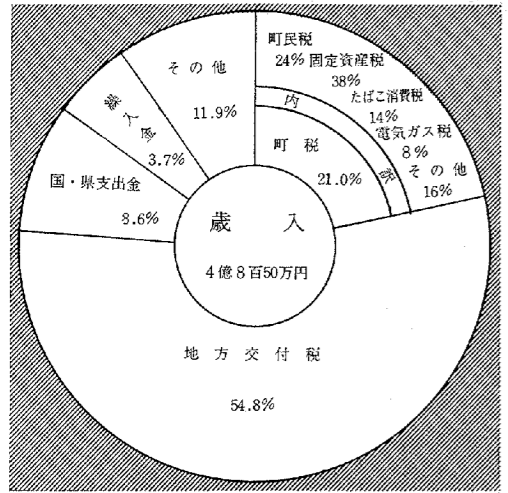
土木費
五千七百三十八万八千円と昨年の大増額いたしました。増額の主たるものは町道の舗装と改良整備であり、さらに広域市町村圏の整備事業としての交付税増や起債でこれらの決まり次第相当な増額補正で舗装も進める見込であり、県道等の舗装改良も大中に進めます。港湾整備も本年は港内浚渫も大きく進め、近い将来の港湾利用の整備がはじまります。

消防費
二千三百四十七万七千円と



歳入				歳出							
款	別	本年度予算額	前年度予算額	比	構成割合	款	別	本年度予算額	前年度予算額	比	構成割合
1	町民税	85,785	75,437	10,348	21.00	1	議会議費	14,688	12,996	1,692	3.60
2	自動車取得税	8,000	7,000	1,000	1.96	2	議会議費	75,383	73,044	2,339	18.45
3	地方交付税	224,000	180,000	44,000	54.83	3	民生費	42,183	34,066	8,117	10.33
4	交通安全対策特別交付金	140	100	40	0.03	4	衛生費	33,067	23,826	9,241	8.09
5	分便用庫	6,458	6,117	341	1.58	5	労働費	12,151	11,311	840	2.97
6	交通安全対策特別交付金	5,521	5,158	363	1.35	6	農林水産業費	23,615	23,780	△165	5.78
7	国庫	21,697	20,254	1,443	5.31	7	土木費	15,434	13,877	1,557	3.78
8	県庫	13,308	11,047	2,261	3.26	8	消防費	57,385	45,394	11,991	14.05
9	支産	4,044	2,808	1,236	1.00	9	土木費	23,477	12,322	11,155	5.75
10	附入	328	500	△172	0.08	10	教育費	74,408	78,051	△3,643	18.22
11	繰越金	15,000	15,000	0	3.67	11	土木費	24,029	24,833	△804	5.88
12	繰越金	8,500	25,000	△16,500	2.08	12	支備	12,180	11,000	1,180	2.98
13	諸町取	8,719	8,679	40	2.13	13	支備	500	500	0	0.12
14	諸町取	7,000	7,900	△900	1.72						
才	入 合 計	408,500	365,000	43,500	100%	才	出 合 計	408,500	365,000	43,500	100%

歳入の状況

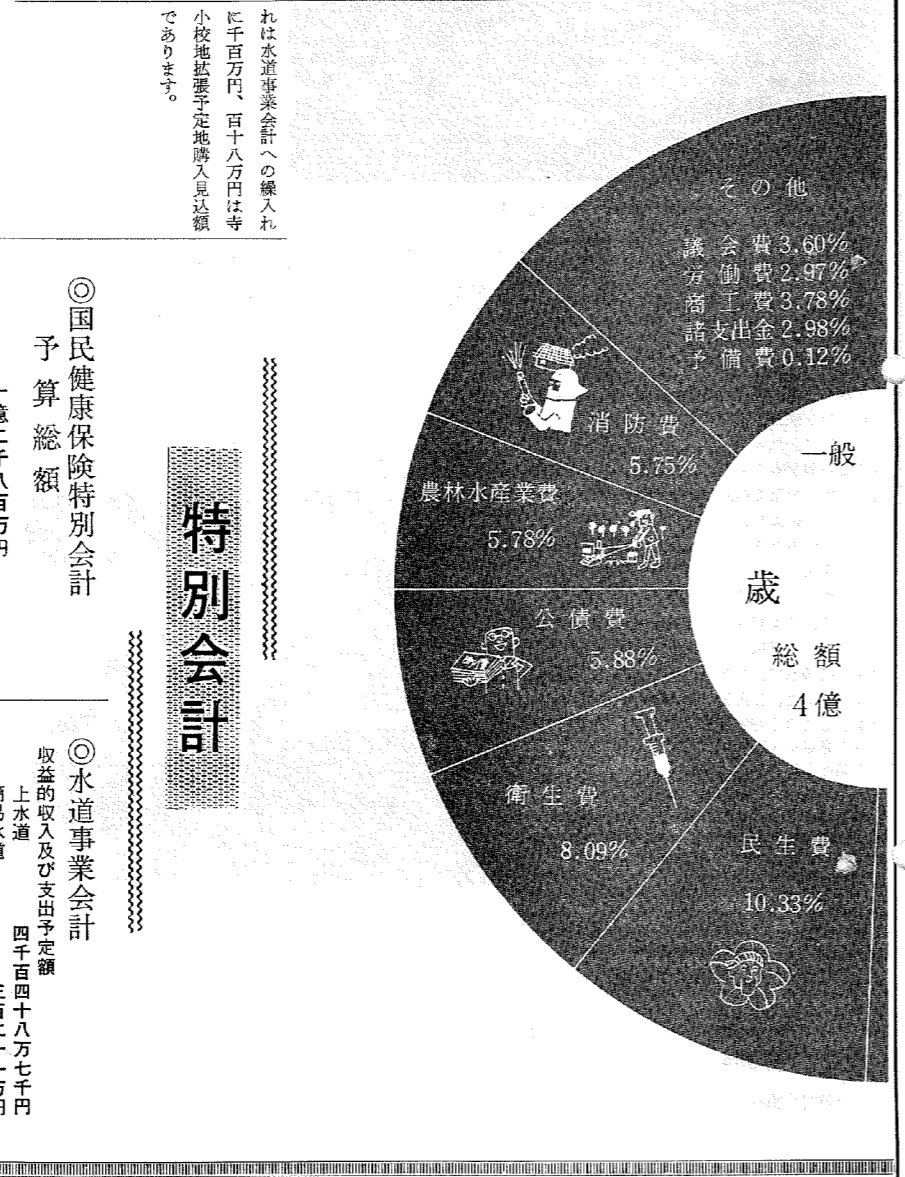


総務費
七千五百三十八万三千円であり、総務関係で四千八百七十九万、税務関係費千七百二十九万、住民基本台費費六百十九万、その他であります。(選挙費二百七十万円等) 総務関係では人件費、庶務、財政、文書広報、企画、支所管理費、諸費であり海岸公園整備事業(造成)三百万円、保健給養費七百七十五万円、

教育費
七千四百四十万円であり、町内各学校の施設の整備、教材整備充実をはかり、本小学校体育館建設に三千七百七十万円、大津津小学校プール建設に三百八十万円、高校分

公債費
二千四百二十万円であり、現在まで各種起債三十五件の本年分元利償還金であります。

諸支出金
千二百二十八万円であり、これは水道事業会計への繰入れに千百万円、百十八万円は寺小校地拡張予定地購入見込額であります。



特別会計

◎国民健康保険特別会計 予算総額 一億二千八百万円
前年度当初予算比九百七十万円の増加となっております。主なものは、本年度から町独自の国民健康保険として、老令者医療費の無料制度を設け、八十才以上の老令者が安心して医療を受けられるよう医療費を無料とする給付改廃費百五十万円の予算を計上し、この結果保険給付費では、前年度当初予算対比八百三十三万円の増額となりました。

◎水道事業会計 予算総額 二千五百五十一万三千円
前年度当初予算比七百三十六万九千円の増加となっております。主なものは、一般管理費百四十一万円、薬劑購入等の医薬費百円の増額と予備費四万一千円の減額からなっております。

◎水道事業会計
収益的収入及び支出予定額
 上水道 四千四百四十八万七千円
 簡易水道 三百二十一万円
 計 四千四百六十九万七千円
 資本的収入予定額 四千六百八万三千円
 資本的支出予定額 五千四百四十三万三千円
 上水道 三十四万六千円
 簡易水道 五千零七十七万九千円
 計 五千四百四十三万三千円
 資本的収入予定額は、その殆んどが将来増大を予想される本事業と施設の安全性に配慮するため計画された第二次拡張工事であり、予算面では継続となつていますが、実質的には四十五年度で事業も完了し、現在は試運転作業につけており、近く給水事情もよくなるものと思われまふ。

六月一日より 水道週間はじまる
三年計画ではじめられた上水道の拡張工事もほぼ終了、目下試運転作業につけておりますが、この工事により一日最大給水量が五〇〇トント、今迄の二倍近い給水能力に拡張され、発展途上の本町に期待される、工場等の増加や、夏の観光シーズン、外来客の殺到による需要増にも充分間に合いうる給水能力がつけられたわけで、信濃川の異常高水がない限り大丈夫と専門家は太鼓判を押しております。
一方今まで遠い部落や、高台に住む皆さんには水圧の関係で長い間断水に近い状態で御迷惑をかけたこともありますが、最近その原因も究明解決しましたので、これからは給水事情も好転し喜んでいただけると思われまふ。
六月一日よりはじまる水道週間は、水道と生活環境の改善を目標にされたものでありますが、水道課では確実な計量、エレイナ水車をモットーに目下故障量水器の取替、本管の漏れ作業等を計画的に行う等、サービスの向上につとめておりますので御協力下さい。

取水後の水は、重圧で取り替えるので、使用料をいただきます。また、漏水については、重圧で各家の引込線に漏水が見えたらすぐ水道課へ通報して下さい。

